

(健Ⅱ96)
令和元年9月4日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 菴 敏

ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）の運用開始について

ワクチンの需給状況につきましては、従来、国は、医療機関における需要予測に対し、十分なワクチン製造予定量が確保されているとの説明を行っております。

一方、本会といたしましては、全体の需給状況と現場の医療機関におけるワクチンの不足感とのギャップは毎年生じており、地域ごとのワクチンの需給状況を把握する仕組みが不十分であることがその一因であると考えております。

今般、地域におけるワクチン不足・偏在状況の共有を図り、その解決に向けた検討を行うことを目的として、「ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）」の運用を開始することといたしました。

本システムは各医療機関へのワクチンの納入を保証するものではありませんが、地域の実情を把握し、関係者間で情報共有したいと考えております。

本会ホームページメンバーズルーム内に専用の入力ホーム（医療機関及び郡市区医師会）を設け、集計結果につきましても公表いたします。（2週間に1回、更新予定）

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただき、管下郡市区医師会等への同システムに係る周知及び報告への協力について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

○入力ホーム（日本医師会ホームページメンバーズルーム内）

※ユーザー名、パスワードを求められます。

<https://www.med.or.jp/japanese/members/ssl/vaccine/>

○集計結果公表ページ ※現在は掲載イメージをご覧いただけます。

医師のみなさまへ → 感染症関連情報 → ワクチン納入状況報告システム → ワクチン納入状況について

http://www.med.or.jp/doctor/kansen/vaccine_system/008590.html

【別添資料】

・ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）について

（令元9月4日 日本医師会 感染症危機管理対策室）

(健Ⅱ96F)
令和元年9月4日

郡市区医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 菫 敏

ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）の運用開始及び
同システムへの代行入力に係る協力について

ワクチンの需給状況につきましては、従来、国は、医療機関における需要予測に対し、十分なワクチン製造予定量が確保されているとの説明を行っております。

一方、本会といたしましては、全体の需給状況と現場の医療機関におけるワクチンの不足感とのギャップは毎年生じており、地域ごとのワクチンの需給状況を把握する仕組みが不十分であることがその一因であると考えております。

今般、地域におけるワクチン不足・偏在状況の共有を図り、その解決に向けた検討を行うことを目的として、「ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）」の運用を開始することといたしました。

本システムは各医療機関へのワクチンの納入を保証するものではありませんが、地域の実情を把握し、関係者間で情報共有したいと考えております。

本会ホームページメンバーズルーム内に専用の入力ホーム（医療機関及び郡市区医師会）を設け、集計結果につきましても公表いたします。（2週間に1回、更新予定）

なお、本システムについては、基本的には各医療機関より直接情報を入力していただくことを想定しておりますが、医療機関のご事情により入力できない場合には、貴会が代行して入力いただくなど、本システムの運用に可能な限りご協力を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

○入力ホーム（日本医師会ホームページメンバーズルーム内）

※ユーザー名、パスワードを求められます。

<https://www.med.or.jp/japanese/members/ssl/vaccine/>

○集計結果公表ページ ※現在は掲載イメージをご覧いただけます。

医師のみなさまへ → 感染症関連情報 → ワクチン納入状況報告システム → ワクチン納入状況について

http://www.med.or.jp/doctor/kansen/vaccine_system/008590.html

【別添資料】

・ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）について

ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）について

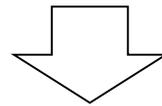


令和元年9月4日

日本医師会 感染症危機管理対策室

ワクチン不足、偏在の解消に向けた仕組みづくりの必要性

従来、医療機関における需要予測に対し、十分なワクチン製造予定量が確保されているとの説明がなされてきたが、地域ごとの需給状況を把握する仕組みは不十分であり、そのために毎年、需給状況と医療機関における不足感とのギャップが生じていると考えられる。

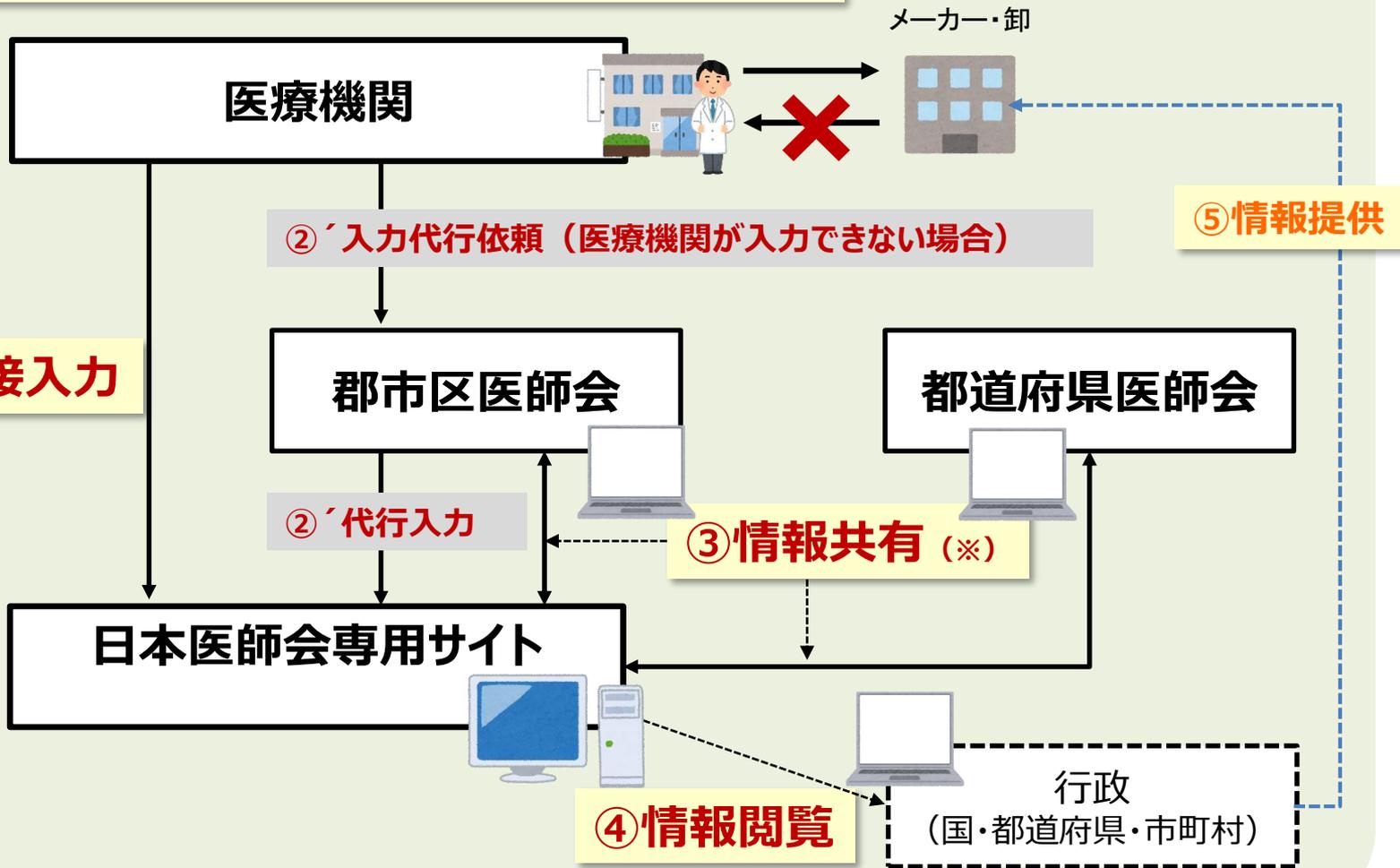


ワクチン流通状況（医療機関への未納入、不足感）を客観的に把握・評価するシステムを構築し、地域におけるワクチン不足・偏在の解消につなげる

市町村、医師会が地域におけるワクチン不足・偏在状況の共有を図り、速やかに調整を図ることを促す。

情報の流れ

① ワクチンを発注しても通常通り納品されない



※当面は2週間に1度更新予定

記入・報告項目（プロトタイプ）

	項目	入力方法	情報
1	都道府県名	pull-down	公開
2	医療機関名	直接	—
3	不足ワクチン（対象9疾病）	不足の場合 CHECK	公開
4	連絡先（E-Mail）（※）	直接	—

※登録完了メールを自動送付

入力画面イメージ（プロトタイプ）

日本医師会HPメンバーズグループ内に専用フォームを設置
(右図参照)

ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）

従来、医療機関における需要予測に対し、十分なワクチン製造予定量が確保されているとの説明がなされてきましたが、地域ごとの需給状況を把握する仕組みは不十分であり、そのために毎年、需給状況と医療機関における不足感とのギャップが生じていると考えられています。

この度、地域におけるワクチン不足・備在状況の共有を図り、その解決に向けた支援を図ることを目的に「ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）」を作成しました。

本システムは各医療機関へのワクチンの納入を保証するものではありませんが、地域の実情を発信するため、ご協力をお願いします。

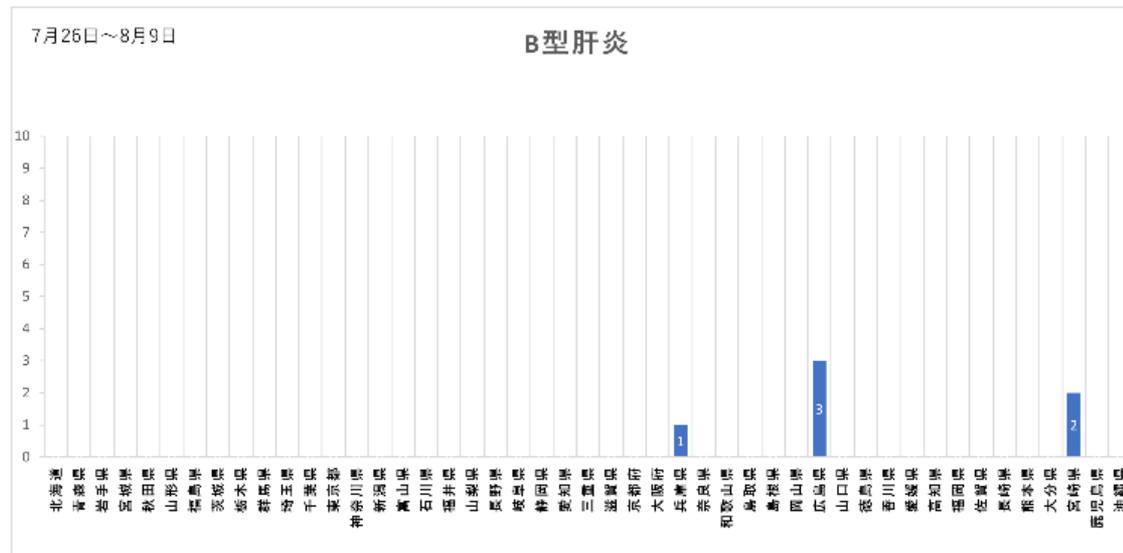
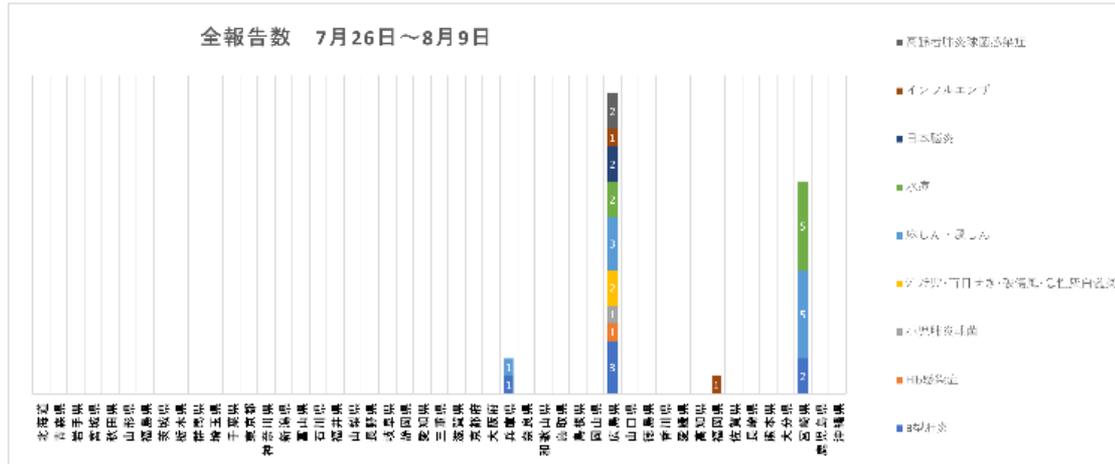
都道府県名	必須	----- 選択してください ----- ▼
医療機関名	必須	<input type="text"/>
◆以下の予防接種対象疾病のワクチンの不足状況についてご回答ください。 ※本システムでのワクチン不足の定義：発注した数量が通常どおり医療機関に納入されないこと。 (全部あるいは一部の納期が遅れること)		
麻しん・風しん		<input type="checkbox"/> 足りていない
インフルエンザ		<input type="checkbox"/> 足りていない
B型肝炎		<input type="checkbox"/> 足りていない
Hib感染症		<input type="checkbox"/> 足りていない
小児肺炎球菌		<input type="checkbox"/> 足りていない
ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎		<input type="checkbox"/> 足りていない
水痘		<input type="checkbox"/> 足りていない
日本脳炎		<input type="checkbox"/> 足りていない
高齢者肺炎球菌感染症		<input type="checkbox"/> 足りていない
メールアドレス	必須	<input type="text"/>
確認用メールアドレス	必須	<input type="text"/>
送信 リセット		

回答登録（送信）後、本会から登録完了メールを送信いたします。

公開イメージ①（全国の状況）

※日医HP（一般公開ページ）

対象疾病別 都道府県別報告数



公開のイメージ②（全国の状況）

